

「実態調査プロジェクト」

まつど暮らしなローカルマップづくり

松戸市での暮らしに密着した、地元の方々だからこそ知るローカルな情報を集め、まつど暮らしの実態を探るべく、期間限定の調査プロジェクトが2020年10月より開始しました。調査メンバーを一般公募して、集まったのは市民と学生の4名。

を経て、再認識や新発見を含めた、まつど暮らしに関する生の声をたくさん集めることができました。「駅も、並木通りも、パン屋もたくさん」「東京に近いにもかかわらず、タヌキやカワセミがいたり、こだわりの野菜やフルーツがあったり。自然の恵みが身の回りのあちこちに！」「電車でも車でもおでかけは便利！」など、まつど暮らしの実態に迫ることができました。



取得した情報すべては紹介できませんが、調査結果を、まつど暮らしな『風景』と『ローカルマップ』にまとめました。

▶ まつど暮らしの実態調査チーム



① 調査メンバー
林 歩未
所属：某学習塾
年齢：34歳
好きな食べ物：お寿司

② 調査メンバー
丸巻 正人
所属：合同会社
ワンダークリエイト
年齢：35歳
好きな食べ物：たくあん

③ 調査メンバー
丸森 さおり
所属：千葉大学 園芸学部
緑地環境学科
年齢：21歳
好きな食べ物：たこやき

④ 調査メンバー
佐々木 圭
所属：千葉大学大学院
園芸学研究所
年齢：23歳
好きな食べ物：ケバブ

サポートメンバー
⑤ 萩野 正和 (株式会社 connel) ⑥ 齋藤 啓祐 (松戸市 シティプロモーション担当室)
⑦ 難波 幸一 (松戸市 シティプロモーション担当室) ⑧ 細田 渉 (株式会社 connel)